



平成16年度 佐賀大学有明海総合研究プロジェクト 成果公開シンポジウム

- ◆招待講演：「有明海における各種赤潮の発生機構私説」
本城 凡夫（九州大学大学院農学研究院教授）
- ◆基調講演：「有明海の現状と再生への方策」
瀬口 昌洋（佐賀大学農学部生物生産学科教授）
「有明海湾奥沿岸域における物質輸送と水質・底質環境」
山西 博幸（佐賀大学低平地研究センター助教授）
- ◆一般講演
- ◆ポスターセッション

- 25日(金)**
- オープニングセレモニー ……13:30～
 - 基調講演 ……14:00～
 - 一般講演 ……15:00～
 - ポスターセッション ……16:00～
 - 交流会(有料) ……18:00～

- 26日(土)**
- 一般講演 ……9:30～
 - 招待講演 ……10:45～
 - 基調講演 ……13:30～
 - 一般講演 ……14:20～
 - 全体討論 ……16:30～

※プログラムの詳細は、裏面をご覧ください。

2005年3月25日(金)・26日(土)

- 会場／佐賀大学理工学部6号館（本庄キャンパス）
都市工学科大講義室（1階）・多目的セミナー室（2階）
- 開催時間／25日(金) 13:30～19:30
26日(土) 9:30～17:30
- 主催／佐賀大学有明海総合研究プロジェクト
- 共催／低平地研究会
- お問い合わせ／佐賀大学有明海総合研究プロジェクト事務局
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
TEL 0952(28)8846 FAX 0952(28)8846
ホームページ <http://www.ariake.civil.saga-u.ac.jp/>



ACCESS

- 佐賀駅バスセンターからバスで約20分
[4番のりば]から市営バス11番相応行又は、12番東与賀行で「佐大前」下車。
[4番のりば]から市営バス63番佐大前行で「佐大前」下車。
- 佐賀駅からタクシーで約15分
- ◆駐車場は余裕がありますので、マイカーでご来場いただいても結構です。

佐賀大学有明海総合研究プロジェクト

◆プロジェクトの紹介

佐賀大学は、学内経費を基盤に平成16年度から3年間の予定で**有明海総合研究プロジェクト**を立ち上げました。本プロジェクトは2000年冬の有明海異変、すなわち海苔の色落ち被害をきっかけとして社会問題化した有明海の問題に、全学的に取り組む事を意思表示したプロジェクトです。本プロジェクトは、学内の専門の異なる研究者が集まり、有明海問題に独自の視点で研究に取り組み、かつ、交流を通して総合化することにより、複雑に絡み合った有明海環境の問題解決に大きな成果が得られるものと期待されています。

◆16年度プロジェクト研究テーマの紹介

本プロジェクトにおいては、研究の中心となる**コア研究**と、研究者の自由な発想に基づく**自由研究**を設定しました。コア研究としては、次の3つの研究テーマを設定しています。

- ①有明海湾奥部の泥干潟と海象に関する総合的研究
- ②陸域と有明海に関する総合的研究
- ③有明海域の食と健康

16年度の各研究テーマは表の通りです。(◎：基調講演者、○：一般講演者)

■コア研究

学部・センター	氏名	テーマ	種別
理工学部機能物質化学科	田端 正明	有明海の濁りと干潟の化学的機能と色落ち海苔の回復及び貝への影響	○
農学部生物生産学科	瀬口 昌洋	有明海奥部西岸域における貧酸素水塊の発生機構の解明とその防止法に関する研究	◎
低平地研究センター	山西 博幸	有明海湾奥部の底泥・懸濁物輸送が干潟形成と生息生物に及ぼす影響に関する調査研究	◎
農学部生物生産学科	加藤 治	有明海湾奥部における海底改良工場の有効性の検証について	○
低平地研究センター	荒木 宏之	有明海の流れと生態系モデルの開発	○
農学部応用生物科学科	神田 康三	有明干潟泥土における窒素化合物浄化に関する細菌群の微生物生態と浄化機構の検討	○
文化教育学部地域・生活文化講座	山下 宗利	有明海沿岸域における生業形態と土地利用変化	○
理工学部知能情報システム学科	新井 康平	有明海全域の海洋環境および陸域環境に係る総合研究	○
医学部医学科麻酔・蘇生学講座	中島 幹夫	有明海における細菌感染による健康被害防止と治療法の確立にむけた総合的医学研究	○
海浜台地生物環境研究センター	亀井 勇統	ノリの赤腐れ病起因菌Pythium porphyraeに対する溶菌酵素によるノリ赤腐れ病防除法の確立に関する研究	○
低平地研究センター	林 重徳	有明海異変と海苔養殖の関係について	○
医学部医学科内科学講座	藤本 一真	有明海沿岸地域住民の生活習慣病に関する疫学調査	○

■自由研究

学部・センター	氏名	テーマ
総合分析実験センター	西本 潤	有機スズと重金属汚染の状況に関する調査
農学部応用生物科学科	近藤 榮造	有明海に生息する線虫類の動態と環境指標生物としての利用
農学部応用生物科学科	林 信行	(特許申請予定のためテーマ非開示)
農学部生物生産学科	野瀬 昭博	マングロープ植栽を利用した有明海底質改善技術開発に関する研究
農学部応用生物科学科	草場 基章	有明海沿岸域における葉面微生物相に関する研究
農学部応用生物科学科	加藤富民雄	有明海干潟から分離した細菌のII型制限酵素に関する研究
理工学部機能物質化学科	永野 正光	酸化物質ナノシートを用いた新規ハイブリッド光触媒の水質浄化への応用
農学部生物生産学科	武田 淳	日韓両国の干潟生態系における食用水産資源の再生産力と採捕量等に関する経時的・計量的比較研究
理工学部都市工学科	大串浩一郎	閉鎖性内湾における水環境情報の評価システムに関する研究
理工学部都市工学科	古賀 憲一	筑後川流域と有明海における総合水管理のための解析ツールの開発
低平地研究センター	柴 錦春	有明海底泥の移動における圍繞堤の効果に関する数値解析検討
低平地研究センター	日野 剛徳	低平地における地盤の化学的改良が陸-海域の珪酸循環挙動に及ぼす影響について
農学部応用生物科学科	濱 洋一郎	有明海に生息する魚類の体表粘質物
理工学部機能物質化学科	兒玉 浩明	アミノ酸組成より見た有明海生物環境の考察
農学部応用生物科学科	柳田 晃良	有明海魚介類、とくにエイ由来生理機能物質の探索と解析
理工学部都市工学科	後藤隆太郎	有明海沿岸低平地における居住空間システムに関する研究
理工学部都市工学科	平川 隆一	菊池川河口域における土砂と栄養塩の挙動に関する研究
理工学部都市工学科	根上武仁・鬼塚克忠	養生条件が浚渫土(有明粘土)の安定処理効果におよぼす影響について
理工学部都市工学科	鬼塚克忠・根上武仁	海底資源採掘による有明海海底陥没と筑後平野の地盤沈下
医学部附属病院集中治療部	荒木 和邦	Vibrio vulnificus感染症患者における血清抗体価の推移に関する研究
農学部生物生産学科	東江 栄	シチメンソウはなぜ赤くなるのか
経済学部法政策	櫻澤 秀木	有明海訴訟関係資料の収集とデータベースの整備
経済学部地域経済研究センター	池田 智子	有明海関係新聞記事の収集とデータベースの整備
農学部生物生産学科	五十嵐 勉	環有明海開発史と環境保全活動に関するデータベースの構築とその活用

●シンポジウムプログラム●

平成17年3月25日(金)	
6号館1階 都市工学科大講義室	6号館2階 多目的セミナー室
13:00	13:00
受付	
13:30	
オープニング セレモニー	
14:00	
基調講演 (瀬口教授)	ポスター準備
14:50	
15:00	
一般講演 (3件×15分)	
15:45	
	掲示
	16:00
	ポスターセッション
	17:30
	18:00
	交流会
	19:30
平成17年3月26日(土)	
6号館1階 都市工学科大講義室	6号館2階 多目的セミナー室
9:00	9:00
受付	
9:30	
一般講演 (4件×15分)	
10:30	
10:45	ポスター掲示 (1日目のポスターを そのまま掲示)
招待講演 (本城教授)	
12:00	12:00
13:30	
基調講演 (山西助教授)	
14:20	
一般講演 (2件×15分)	
14:50	
15:00	
一般講演 (5件×15分)	
16:15	
16:30	全体討論 閉会挨拶
17:30	